

核廃棄は人類の約束 第75回長崎原爆の日

ビデオ通話 自撮りも風景も

【函館】情報系単科大学の公立はこだて未来大(函館市)の研究者が、タブレット端末で自身を自撮りしながら、目の前の風景も同時に相手に送る新たなビデオ通話システムを開発している。これまでは、どちらか一方の映像しか送れなかったが、タブレットを背中合わせに2台張り付けることで可能に。新型コロナウイルスの感染拡大で人の往来が制限される中、病院の入院患者がオンライン上で家族らと外出を楽しめる手段として期待されている。コロナ禍で急速に普及するZoom(ズーム)やスカイプ、LINE(ライン)などのビデオ通話サービスは、スマートフォンやタブレットのカメラを使う。ただ、自撮りなどで使う「インカメラ」と液晶ディスプレイのない側に搭載されているアウトカメラは同時に使用できず、片方のカメラでしかやりとりできない。

はこだて未来大開発中 複数映像を1画面に



生が開発中の仮想同行体験システム「ボケレボジョー」は、システムを導入したスマホやタブレットを背中合わせに接続することで、2台のインカメラで同時に撮影しながら会話できるようなにした。通話相手の端末の画面は、2分割されて両方の映像が同時に映り、お互いに相手の顔を見ながら、同じ風景などを楽しむことができる。

7月下旬には、同大の学生が、新型コロナウイルスの影響で来日できないスリランカ人留学生のクシニ・ハトルシンハさん(20)とシステムで交流した。学生らは試作品の端末を手で函館市内を散策。クシニさんは、学生の顔と函館の街並みが映るパソコン画面を前に「友だちと歩いているみたいで楽しい」と喜んで話した。(関口潤)



開発中の新システムを使ってスリランカ人留学生に函館の街並みを紹介する、はこだて未来大の学生(橋谷駿矢撮影)

「一緒に歩いているみたい」

核軍縮 停滞を懸念 75回目「長崎原爆の日」

長崎原爆の日、被爆から75年の「原爆の日」を迎え、爆心地に近い長崎市松山町の平和公園で、「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が営まれた。甲斐久市長は「平和宣言」を読み、小池核軍縮の推進が「使用される脅威が現実のものとなっている」と危機感を表明。各国の指導者に連帯を促し、実効性のある核軍縮の道筋を早急に求めた。被爆者は「長崎を最後の被爆地」として核廃絶の切なる願いを訴えた。(4面)平和宣言全文、22面へつづきます

コロナが広がるまで怖さが分らなかったように、核が使われるまでその脅威に気が付かなくてはならない。核軍縮の停滞を懸念する。核軍縮の停滞を懸念する。核軍縮の停滞を懸念する。

LADIES CHAMPIONSHIP 本日優勝戦 BOAT RACE 多摩川

Table with weather data and Tokyo 2020 information. Columns include dates from 22 to 28, and rows for temperature, precipitation, and other metrics.

豪雨事前合宿に影響も

町内の話題も扱った4コマ漫画「正くんファミリー」。

町内の話題も扱った4コマ漫画「正くんファミリー」。

町内の話題も扱った4コマ漫画「正くんファミリー」。

町広報誌に漫画500回 179の窓 石狩当別面 7月31日朝刊の記事

【当別】石狩管内当別町の月刊広報誌「町広報」は、ついに、43年にわたる連載されてきた4コマ漫画「正くんファミリー」が、8月号の500回で終了する。

「正くんファミリー」は、役場に入庁。配属された広報編集課の上司から4コマ漫画執筆を提案され、引き受けた。以来、出納簿、福祉と異動を重ねた後も受け持った。2019年10月には消費税増税を題材とするなど、時事ネタも扱ってきた。



自身の4コマ漫画「町広報」を前に、「広報誌は漫画から読む人もいた」と話す熊谷さん

を拾い、時には歳時記をめぐり、広報誌の4コマ漫画の親子のやりとりを、正君とお母さんに投影したという。「日常生活で共感してもらえるものや、くすくす笑えるものを目指した」。